

発 言 通 告 書

令和 7 年 6 月 17 日

松山市議会議員 原 俊 司 殿

松山市議会議員 向 田 将 央

次のとおり通告します。

発言順位	2 2	受領日時	6 月 17 日 午前・午後 11 時 25 分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 40 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者			

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	保育施設全般について	<p>(1) 保育園における待機児童と入所待ち児童の違いについて、初めて保育園を希望する保護者の方に向けて、分かりやすく説明を求める。</p> <p>(2) 保育所等入所選考基準表で同点の場合には、基準の優先順位を決めておくなど、できるだけ同点を減らすことで不公平感を減らせることはできないか見解を伺う。</p> <p>また、自営業を問わず手を差し伸べるべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) こども家庭庁では保育 DX という取組が推進されており、この取組の中で、既に私たちが利用可能となっているコンテンツとして子ども・子育て支援情報公表システム「ここdeサーチ」というシステムが開発されていることを把握しているか。把握している場合、このシステムについての所見を伺う。</p> <p>(4) 担当課から「平成 27 年度に子育てマップを作成し、松山市ホームページにも掲載し広く市民も活用している」とのことだが、市民からはそういう声があまり聞かれていないように感じている。本市としてこの子育てマップは、保育園に入りたくて悩まれている皆様にとって使いやすい内容となっているかと思っているのか。</p> <p>また、保育 DX を推進している国に対して、ホームページに PDF ファイルを掲載している本市は、保育 DX を推進していると言えるのか。</p> <p>さらに、本市の保育・幼稚園課とこども家庭庁の情報共有の在り方はどのようになっているのか見解を伺う。</p> <p>(5) 本市の保育施設全体で、業務支援アプリの導入はどの程度進んでいるのかと、どこまで導入することが可能なのか伺う。</p> <p>また、業務支援アプリのような ICT の導入を望む保育園に対して、どのようなサポートをしているのか。</p> <p>さらに、政府の動きに比べて、現状、アナログに頼る部分が多すぎるように思うが見解を伺う。</p> <p>加えて、先進的な事例として、東京都渋谷区では、保育園について</p>

